

ふく・運ぶ・捨てる…

# 家事の動きを まねるロボット

ホンダと電気通信大  
学、情報通信研究機構な  
どは共同で、人が家事を

## ホンダ 高齢者向けに活用

する動きを学習してまねるロボットを開発した。ふき掃除や物を運ぶといった10種類の動作の手本を見せて命令すると、ロボットが覚えて同じ動きをする。部屋の間取りや家具の配置に応じた作業もできる。家事支援ロボットとして数年以内に実用化を目指す。

パン(埼玉県和光市)が電通大や玉川大などと組み開発。プログラムで決まった動作をするロボットは多いが、学習して臨機応変に家事をこなすタイプは初めてという。開発したロボット「DIGORO(ダイゴロウ)」は2本の腕をもつ体を電動二輪車に載せた形で、身長約150センチ、体重約120キロ。最初に室内を移動させ

て家具や物の位置を覚えさせる。人が手本の動きを実演し命令すると、ロボットが学習して同じ動

きをする。ペットボトルを持ち上げて捨てる動きを数回繰り返してから「テーブル上のボトルをゴミ箱に捨てて」と指示すれば、ロボットが指示通りに動いた。

同様の仕組みで机をふく、コップに水を注ぐ、新聞や本を運ばせる—といった動作が可能。一人暮らしの高齢者や障害者などの家庭で支援ロボットとして有望という。